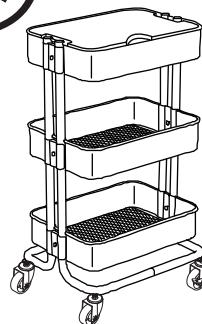


ROSSINI ミニバスケットワゴン 天板付き 3段

品番：ROWG-41T-3D



この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永く
ご使用下さい。

①注意事項

- 危険ですので、ワゴン以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。
変形・変色の恐れがございます。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特に
ご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てして
下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直
して下さい。

ROSSINI ミニバスケットワゴン 天板付き 3段(ROWG-41T-3D)

品質表示

※外形寸法: 約 幅410mm×奥行360mm×高さ730mm

※表面材 : (天板)天然木
(脚部・バスケット)スチール

※表面加工:(天板)ラッカー塗装
(脚部・バスケット)エポキシ粉体塗装

取扱上の注意

1. 湿気の多い場所でのご使用はお避け下さい。
2. ご使用の際は、水平に保つようにして下さい。
3. 直射日光またはストーブなどの熱はお避け下さい。
4. 加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないで下さい。
5. 腰掛けたり上には乗らないで下さい。

表示者: 株式会社B.Bファニシング
大阪府堺市東区丈六171-37 ユニイマニシビル2F
TEL: 072-230-3334

MADE IN CHINA

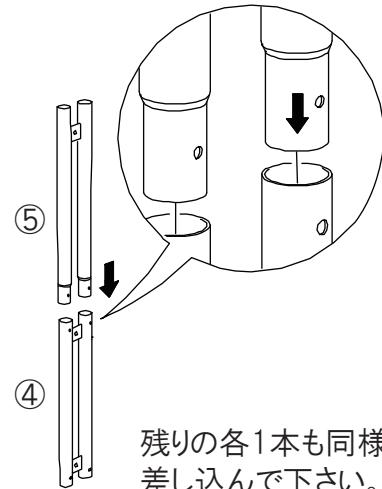
組立説明書 ※プラスドライバーをご用意ください。

部材	※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認下さい。		
①大バスケット(下段用)、中バスケット(中段用)、小バスケット(上段用)	②天板	③鉄片	
1セット	1枚	6枚	
④下パイプ 2本	⑤上パイプ 2本	⑥曲げパイプA 2本	⑦曲げパイプB 2本
部品	※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認下さい。		
A:ボルト(長) 	B:ナット 	C:ボルト(短) 	D:スパナ
6本+予備1本	6本+予備1本	10本+予備2本	1本
E:キャスター(ロック付き) 	F:キャスター 	G:天板のがたつき止め 	H:Sフック
2個	2個	4個	2個

1

組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、お願い致します。

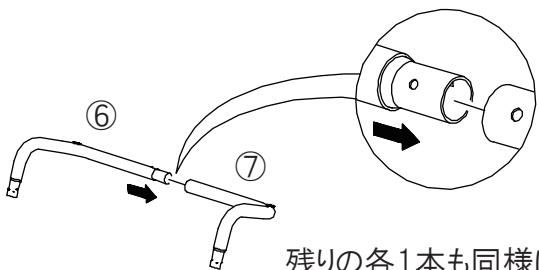
⑤上パイプを、下記のイラストの様に、④下パイプに挿し込んで下さい。



残りの各1本も同様に差し込んで下さい。

3

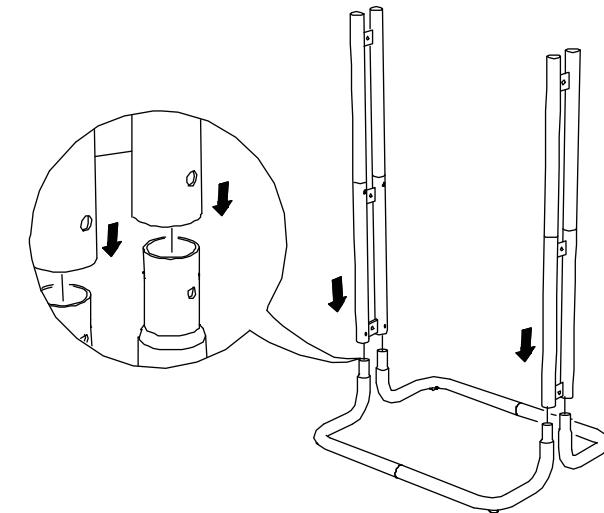
⑥曲げパイプAと⑦曲げパイプBを、下記のイラストの様に、挿し込んで下さい。



残りの各1本も同様に差し込んで下さい。

5

下記のイラストの様に、②で組立てたパイプを、④で組立てた物に挿し込んで下さい。



2

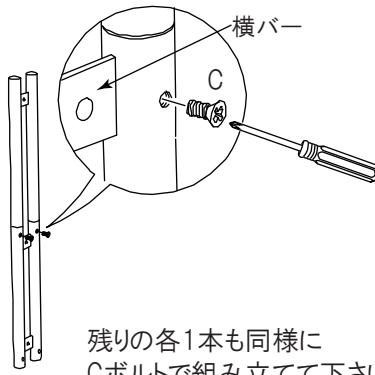
1で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性がございます。

このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。

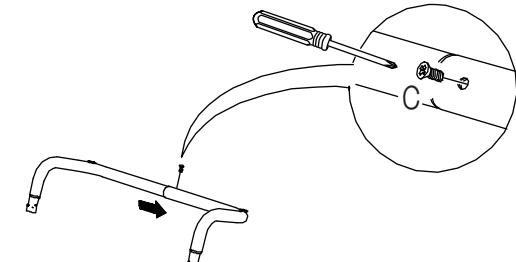


残りの各1本も同様にCボルトで組み立てて下さい。

4

3で組立てたパイプに、ボルト穴が開いていますので、その穴に、Cボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。



残りの各1本も同様にCボルトで組み立てて下さい。

6

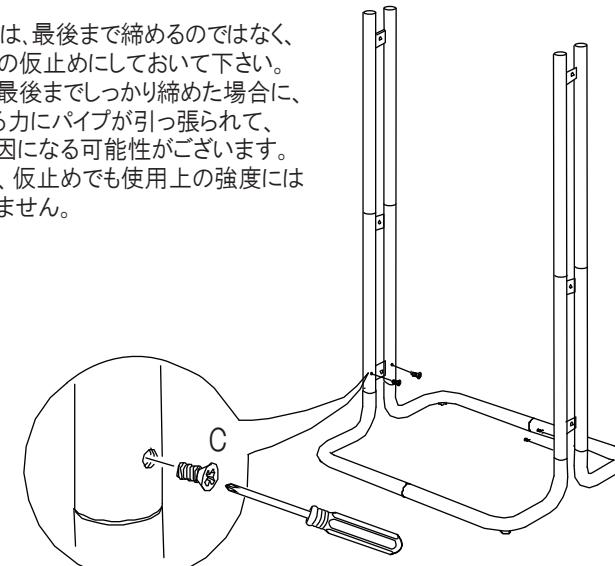
5で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性がございます。

このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。



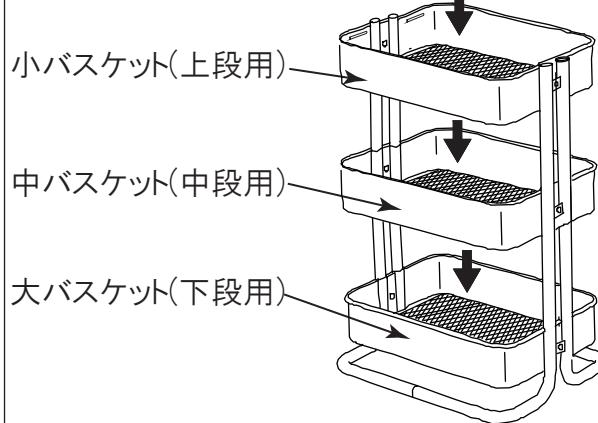
7

6 で組立てた物に、下記のイラストの様に、①大バスケット(下段用)、中バスケット(中段用)、小バスケット(上段用)を上から入れて下さい。

注意!

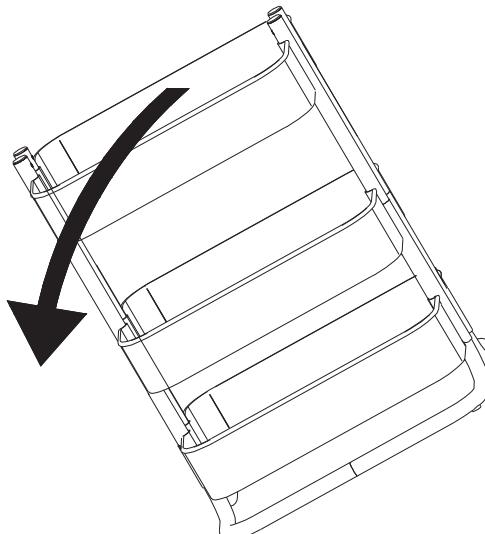
※上記のバスケットを入れる作業の時に、4 と 6 で仮止めにしていたCボルトのボルト頭が、バスケットの底とぶつかりあう場合がございます。

その場合は、4 と 6 で仮止めしてある、Cボルトをもう少し締めて調整をしてから、再度バスケットを入れてみてください。



8

7 で組立てた物に、下記イラストの様に、ゆっくりと、横向きに倒してください。



9

8 で組立てた物を、下記のイラストの様に、パイプの横バーに開いている穴に、③鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

注意!

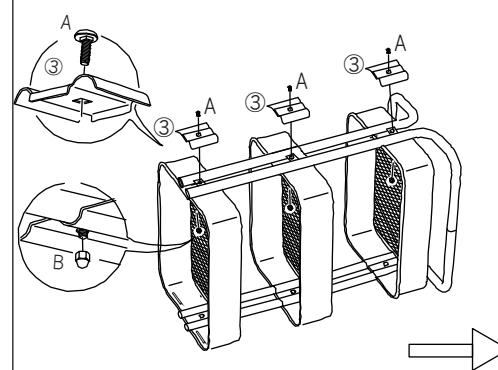
④パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意!

バスケットの組立する順番ですが、最初に上段バスケット、次に中段バスケット、次に下段バスケットの順番で取り付けて下さい。

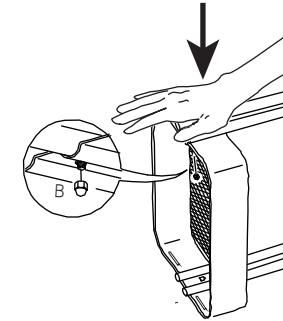
注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ!

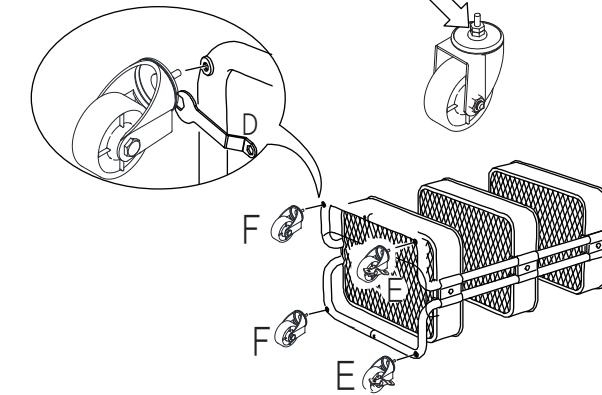
下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



11

10 で組立てた物の裏側に、下記のイラストの様にEキャスター(ロック付き)とFキャスターをDスパナを使用して、取付けて下さい。

※E,Fキャスターのナットが1番下まで締めてあるか確認してから取付けて下さい。



12

11 で組立てた物を起こしてください。次に下記のイラストの様に、4 で仮止めになっていた、Cボルト(短)をドライバーを使用して最後まで締めて下さい。

次に、9 と 10 で仮止めになっていた、Aボルト(長)を、Dスパナを使用して最後まで締めて下さい。

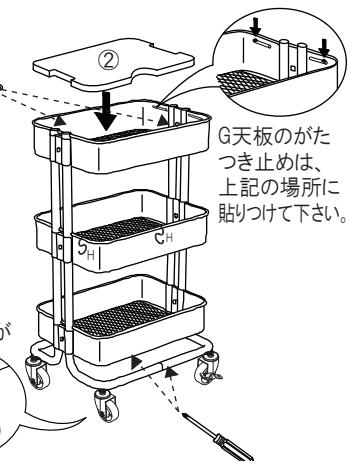
次に下記のイラストの様に、G天板のがたつき止めを貼り付けて下さい。

次に、上部バスケットに②天板を乗せるようにしておいて下さい。Sフックを中段や、下段バスケットにお好みの位置に掛けて下さい。これで完成です。

※上部バスケットとパイプの間に、若干隙間ができる場合がありますが、強度等には問題有りません。

注意!

Aボルト(長)は、Dスパナを使って力いっぱい締めると、ボルトを締める力の方が強いので、バスケットの鉄板が歪んでしまう可能性があるので、力いっぱい締めずに、ある程度固くなったら止めて下さい。



※ご使用になる場所や、組立の仕方によって、商品本体にがたつきが発生する場合がありますが、そのような場合は、Dスパナを使用して、キャスターの高さを微調整して頂くと、直ります。

